

日野市の人口 ※世帯数は外国人世帯を除く

	男性	女性	計	世帯
7月1日	88,744	85,792	174,536	76,862
6月1日	88,712	85,785	174,497	76,807



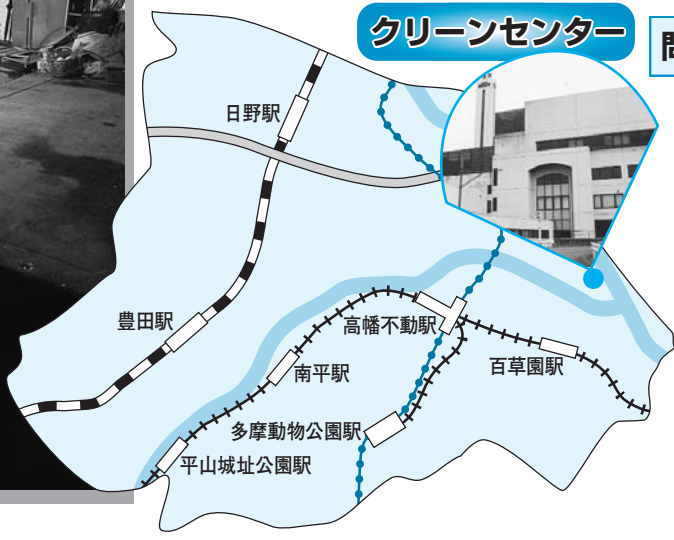
ごみの行方を知っていますか？

改めて気づいて欲しい ごみ・資源物の減量 分別ルール of 徹底



▶ごみはクリーンセンターで中間処理しています(写真は不燃ごみ処理施設)

生活の中で発生したごみは、浅川と多摩川の合流点付近(石田)にあるクリーンセンターなどへ搬入。中間処理の後、ごみは埋め立て地へ、資源物は再生工場へ運ばれます。広報今号では、その流れを紹介します。



クリーンセンター 問合せ先 ごみゼロ推進課(☎581・0444)

ごみを処理するクリーンセンターは 周辺住民のご理解で成り立っています

可燃ごみは、クリーンセンターで焼却しています。ごみを灰にすることで、重さを約90%も減らすことができます。不燃ごみは、細かく破砕して更に分別を加え、搬入時の10分の1の重さに減量して最終処分場へ運んでいます。このような焼却や破砕など

の作業を「中間処理」といいます。中間処理場はごみの処分には欠かせない存在である一方、「迷惑施設」とも呼ばれ、周辺住民のご理解の上で成り立っていることを忘れてはなりません。

「焼却灰」と「破砕された不燃ごみ」は ニツ塚廃棄物広域処分場へ搬入

資源物は 中間処理し、再生工場へ

日野市をはじめ、多摩地域25市1町から出されたごみは、日の出町の最終処分場に運ばれます。ここには、焼却灰をセメントとして再利用(以前は埋め立てていたが、昨年6月から稼働)するための工場と、破砕された不燃ごみの埋め立て地があります。埋め立ては、地元の方や周辺環境に配慮して、決まりを厳しく守って行っています。なお、乾電池や蛍光灯(有害・危険ごみ)は、北海道の再生工場へ運んでいます。



▲収集車は、土曜・日曜を除く毎日、市内とクリーンセンターの間を往復しています

これから

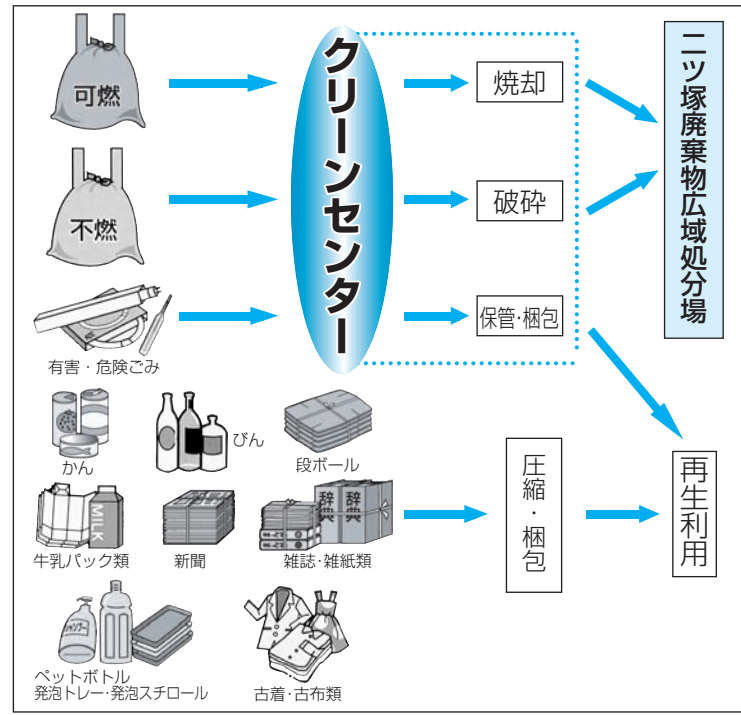
ごみ減量にご協力ください

①可燃ごみ…その半分が「生ごみ」です。食べ残さない、生ごみの水分をよくしぼる、土に埋める、たい肥化などが

減量に効果的です。②不燃ごみ…大半がプラスチック製の「容器・包装」です。買い物には「マイバッグ」を

- 資源物9品目は、中間処理(圧縮・梱包など)を行い、それぞれ民間の工場で次のように再生されています。
- ①新聞…トイレットペーパーや新聞紙に。
 - ②雑誌・雑紙類…雑誌や菓子箱などに。
 - ③段ボール…段ボールに。
 - ④牛乳パック類…トイレットペーパーなどに。
 - ⑤古着・古布類…古着やぞうきんに。
 - ⑥かん…アルミ・スチールそれぞれのかんなどに。
 - ⑦びん…茶色と無色ものはびんに、その他の色は舗装材に。
 - ⑧ペットボトル…プラスチック製品の原料に。
 - ⑨トレー類…擬木やプラントなどの原料に。

●ごみ・資源物の処理の流れ



持参。ばら売り・量り売りで買うことをお勧めします。③資源物…市ではリサイクルに毎年約7億円の費用を要しています。資源物になるものを家に持ち込まないようにする生活の工夫と、なるべく生産者・販売者側に返すこと店頭回収の利用など)や集団回収に出すことが必要です。④スプレー缶類(有害・危険ごみ)…中身の残ったまま出されたものが、収集車やクリーンセンターの破砕施設で爆発を引き起こすことがあります。必ず中身を切り切つてから不燃ごみ袋の隣に別袋に入れて出してください。

8月1日 いなげや日野駅前店・日野栄町店で「レジ袋有料化実験」

市と「日野市ごみ減量推進市民会議」の要請に応じ、スーパーマーケットの「いなげや」が、「レジ袋」の有料化実験実験を行います。買い物時には「マイバッグ」を持参し、レジ袋を断り、ごみ減量に協力ください。

▽実験期間 8月1日(水)～11月30日(金)

▽実施店舗 ①いなげや日野駅前店 ②日野栄町店

▽内容 ①期間中、レジ袋を希望する方には1枚5円で販売②レジ袋の収益は、地域の環境教育などに還元する予定

▽問合せ先 日野市ごみゼロ推進課 (☎581・0444)